

那須TMウェットの実例紹介 (現地ルポ)

(福島県給与事例)

今回は、福島県にて那須TMウェットを使用している酪農家をご紹介します。

TMウェットは隣県の栃木県那須で製造されたTMウェットを使用しております。

ご紹介する酪農家の飼養頭数は成牛16頭・育成牛5頭で奥様と2人で酪農を営んでいます。TMウェット使用前は輸入粗飼料(チモシー・オーツ・ルーサン乾草)と配合飼料で飼養管理を行なっていました。しかし、繁殖管理が思う様にいかず獣医にお願いしての繁殖改善が長く続いていたとの事でした。TMウェット給与のきっかけは近くの酪農家がTMウェットを使用している事を聞き、問い合わせを頂いたのが始まりでした。

TMウェットを給与し半年以上が経過していますが、感想は「嗜好性が良くどんどん食べてくれる」「分娩後に良い発情が見られるようになった」と評価は良好です。

これらの事はTMウェット使用后、乾物摂取量が増加したことで栄養充足が良くなり繁殖機能のホルモンバランスが良好で良い発情が来たものと思います。現在では獣医に繁殖改善をお願いする事も無くなり大変喜んでおられます。乳成分も安定しており全体的に牛の毛づや、ボディコンディションも良くなりました。

牛群検定でのAI回数は1~2回が10頭、3回以上が6頭です。3回以上かかっている牛はTMウェット給与前の影響を引きずっていると思われまます。

(14年12月の牛群検定成績表より)

現在の給与メニューは、乳量30kgに対し雪印配合飼料10kg、TMウェット16kg、クレイグラス4kg、他に稲ワラやビタミン剤等が与えられており給与回数は1日3回です。クレイグラスの使用は他のイネ科乾草に比べ比較的安いので経済性も考慮し組み込んでおります。TMウェットの給与は庭先に運ばれたトラン

スバックから生産者がホークでリアカーに移し給与しています。

また、育成中の段階で問題があった為かガスの溜まりやすい牛がいました。ガスが溜まるたびに治療していましたが、TMウェットを給与してもあまり状況は変わらず「ルーメンサポート」を紹介しました。牛に投与(3本)してからは、ガスの発生も見られなくなり今年1月に分娩し少しずつ給与量を増量していますが食い止まりやガスの発生も無く順調に來ています。

例年、夏場からお盆過ぎまでの気温が高い時はイネ科乾草の食い込みが若干落ちこんでいましたが、今年の夏からTMウェットに切替えてからは落ち込みも少なくなり乳生産に貢献しているそうです。

ここ例年暑い夏が続いており生産者の皆様方におかれましては飼養管理の面で苦労されていると思います。暑い夏にはルーメン内での熱量の発生が最も少ないサイレージの給与が効果的ですが、発酵品質に不安のある生産者の方もいると思われまます。

今年の夏は牛の夏バテ対策の1つとして「TMウェット」をご検討頂けたら幸いです。

(白石営業所 八重樫)

雪印種苗株式会社		
編集発行人 菊地 庸		
本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号		
TEL(011)891-5911		
東北事業部		
024-0004北上市村崎野14地割174-1		
TEL(0197)66-2226		
FAX(0197)71-3307		